学校だより

No.7

平成26年７月７日
尼崎市立尼崎養護学校

１学期　残すところあとわずか

梅雨らしい雰囲気もなく、「今年はカラ梅雨？」と思っていたら７月に入ると、梅雨前線が活発化し大雨の被害にあった地域も出てきました。６月末出張で東京へ行きましたが、ゲリラ豪雨やヒョウまで降り、関東地域の突然の気候の変化には驚きました。私自身、雨のカーテンがどんどんとこちらにやってくるのを目撃し、あわてて館内に逃げ込んだその数秒後に、激しい雨が降ってくるといった体験をしました。ここ数日、雨が降ることで蒸し暑さから少し解放された気分です。

カレンダーを見ると、今日は七夕。あと 10 日で１学期も終了します。先生たちは終業式に向けて、この ４ ヶ月間の授業のまとめをしています。学習の成果やからだの時間の取り組み等、評価をし通知表にして手渡す準備を進めています。今週予定しています『参観懇談週間』の中で、保護者の方々にはお話をさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

６～７月は教育実習・介護体験実習・新任研修会が本校で実施されました。大学生や新任の先生方の研修が続き、児童・生徒にとっては初めて出会う人たちとの学校生活で，緊張することも多々あったことと思います。

尼養は市内特別支援教育のセンター校的な役割をしなければなりません。よってこの時期に実習を受け入れています。慌ただし日々になってしまいますが、学校生活で一生懸命自分の課題に取り組んでいる児童・生徒の姿を知ってもらうチャンスでもあります。

今日から「介護体験実習Ⅱ期」が始まりましした。しっかり学び、かかわってくれることを願っています。

自分の想いを言葉にして伝える。文字で伝える。指先の動きで、目の動きで、口の動きで‥‥。日々の生活で子どもたちは様々な意志表出の方法を学び、獲得していきます。

今回の学校便りでは生徒の作品を紹介します。

下の詩は本校高等部生徒の作った作品です。自らの体験を表現してくれました。

「諸刃の剣」‥‥一方では非常に役立つが、他方では大きな損害をもたらす危険もある、というたとえとして使われています。
昔から私たちが使う言葉には魂が宿るとも言われています。そう、「言霊」です。
言葉には凄い力があると思います。ある意味言葉のほうが刃物より鋭い事もあります。

上手な使い方、きれいな使い方‥‥この作品を読みながら改めて考えさせられました。

諸刃の剣

「２段ベッドにのぼる事もできんのに、そんな靴履けるわけないやん。」
少しヒールのある靴を見せたとき、友達が言った一言だ。
私は足に障害がある。
だけど、みんなと変わらない生活ができ介助など必要なことはない。
だけど、２段ベッドは難しかった。私自身、出来る事だと思っていた。
出来てほしかった。
この「少し」不自由な事がみんなとの差に思えてたまらなく悔しかった。そんな時だった。あの一言を言われたのは。
何も知らない人が言ったのなら私も許せた。でも、違う。何年も一緒にいた友達だ。そんな友達だからこそ気付いてほしかった。
その言葉が心に刺さり傷ついたことを。

ある日、彼女はすごく怒っていた。話を聞くと、知り合いに言われたくない事を言われたらしい。
「ほんま人の気持ちを考えて物事言えや！！」
その時彼女はこういった。
その通りだ。気持ちを考えていれば彼女はこんな怒らなくて済んでいたし、彼女が気持ちを考えていれば私も傷つかなくて済んだ。

言葉には大きな力があると思う。
言葉があるから、元気になったり、頑張れたり。逆に言葉があるから、傷ついたり、喧嘩になったり。
大切な「言葉」だからこそ考えてみてほしい。
あなたの「言葉」は気付かぬうちに刃（やいば）となり人の心を刺してはいませんか。

関西国際大学
江上　真央

10日間という短い間でしたがお世話になりました。
生徒と関わるなかで生徒達は、毎日違った表情が見られ日々、成長している姿が見られました。
実習を通して学んだことを大学での勉強に生かしていきたいと思っています。
そして、教員になりたいと強く思いました。ご指導して下さった校長先生をはじめ教頭先生方本当にありがとうございました。
みんなありがとう!!

武庫川女子大学
三宅 優奈

10日間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。初めての特別支援学校での実習で、充実した10日間を過ごすことができました。子どもたちと関わることで、たくさん元気や勇気をもらいました。そしてたくさんの子どもたちが日々成長する姿を見て、私も頑張ろうという気持ちになりました。今回の実習で感じたことを忘れず、教師になることを目指していきます。

武庫川女子大学から来ました、
若狭 唯（ワカサ ユイ）です。二週間という短い期間ではありましたが、尼養の素敵な子どもたちとたくさん思い出を作ることができました。私は中学部を担当させて頂きましたが、一人ひとりが本当に可愛くて、毎日色々な子と接することがとても楽しかったです。ここで学んだことを忘れずに、これからも勉学に励んで立派な教師になります。本当にありがとうございました。

武庫川女子大学
文学部 教育学科
森 彩（もり あや）

十日間という短い間でしたが、この尼崎養護学校で実習することができ、本当に良かったです。最初は接し方など不安ばかりでした。しかし、中学部に配属になり、毎日違う生徒とコミュニケーションをとるなかで、関わり方、支援の仕方を学ぶことができました。特に自立のための支援、待つ、見守ることの大切さを知りました。また学部に関わらず、たくさんの先生方に御指導頂き、大変勉強になりました。この十日間の経験を忘れず、大学に戻ってからさらに勉強し、教員を目指して頑張りたいと思います。

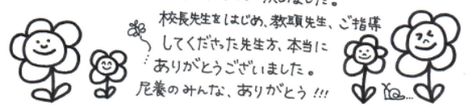
乾（いぬい） 千香子

星槎大学

2週間、たいへんお世話になりました。私は本校で介助員として働いています。
しかし今回は実習生として子ども達と触れ合い、授業を一緒に受け持ち事で、普段見ることのできない子ども達の表情や頑張りを見る事が出来ました。
一緒に勉強した子ども達、ご指導いただいた先生方、校長先生教頭先生、ありがとうございました。
これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

武庫川女子大学
平山 彩（ひらやま あや）

10日間という、とても短い期間でしたが、とても充実した毎日を送ることができました。
初めての特別支援学校の実習で、不安や緊張、戸惑うことばかりでしたが、尼養の笑顔いっぱいの子どもたちにたくさんの元気や勇気をもらいました。忘れることのない10日間です。
"絶対に教員になる！"と強く心に決めました。



高等部を担当させてもらいました。
毎日，笑顔が溢れ，楽しい楽しい教育実習でした。生徒と過ごした時間は，かけがえのない宝物で，たくさんの元気をもらいました。その元気と思い出を胸にこれから頑張っていきます。
2週間，ありがとうございました。
また遊びに行きます。

佛教大学
教育学部教育学科
大西 岳（おおにし たかし）

作品　森 彩さん

教育実習　終わる

２週間、教育実習に取り組んだ７名の大学生。わずかな時間で児童・生徒とのかかわりを深めながら、課題である研究授業を公開してくれました。

児童生徒の気持ち、やる気を引き出そうと一生懸命に取り組む姿、それに応えようとする児童生徒たち、その姿を見ながら応援する先生たち。

近い将来、先生の仲間入りをし、尼養にきてくれることを期待しています。